

連作版画

担当教員 鈴木吐志哉、山本剛史、東樋口徹、中村真理

受講アトリエ【402・工房】修得単位：5単位

2021/1/8(金)-2021/2/27(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

各自制作可能な大きさ、内容に挑戦してもらいます。2点制作。版サイズ450×300mm程度
就業体験（インターンシップ）をし、それをレポートにまとめて提出。（希望選択制）

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	1月8日	金			○	ガイダンス・画材相談	鈴木
2	1月9日	土		フランス語			
3	1月10日	日					
4	1月11日	月		成人の日			
5	1月12日	火			○		鈴木
6	1月13日	水					
7	1月14日	木				先端メディア	
8	1月15日	金			○		山本・中村・鈴木(3年指導)
9	1月16日	土		フランス語			
10	1月17日	日					
11	1月18日	月			○	技法指導(シルク)	東樋口・鈴木
12	1月19日	火					
13	1月20日	水					
14	1月21日	木				先端メディア	
15	1月22日	金			○	技法指導(銅版)	山本・鈴木
16	1月23日	土		フランス語			
17	1月24日	日					
18	1月25日	月			○	中間講評	鈴木
19	1月26日	火					
20	1月27日	水			○	技法指導(リトグラフ)	中村・鈴木
21	1月28日	木				先端メディア	

学習目標

各自の表現に適した版種を選択し、版材料の手配も含め、版画作品を2点制作することで技法の修得、将来の作家活動につながる個々の表現法・テーマを考えていきます。

予習・準備物

各自選択した版種の材料、インク、描画材料、彫刻刀など（画材購入に関しては常時相談を受け付けます）

注意事項

指導日には必ず出席すること。

評価方法

提出課題による採点

ドローイングB

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [402] **【版画工房】** 修得単位：1単位

2020/12/7(月)-12/17(木)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

- ・サイズ・支持体・素材・枚数・他。各自の判断で選択して制作。1000×700mm程度の大作が望ましい。
- ・作品の展示額装及びパネル制作についてのデモンストレーション

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	12月7日	月		アトリエ準備/美術日本語	○	ガイダンス	
2	12月8日	火		制作	○	額装について・展示について	
3	12月9日	水		制作		制作	
4	12月10日	木		制作		先端メディア	
5	12月11日	金		制作	○	パネル制作実演	
6	12月12日	土		創形展		創形展講座	
7	12月13日	日					
8	12月14日	月		制作/美術日本語	○	制作指導	
9	12月15日	火		制作		制作	
10	12月16日	水		制作		制作	
11	12月17日	木	○	講評		先端メディア	

学習目標

「ドローイングA」同様に自由なドローイング制作に集中する時間とする。ただし、今回は各自の版表現へどのように展開できるかも同時に検証する。

予習・準備物

□普段描いているスケッチ、ドローイング、メモ、落書きをしっかりとファイリングしておく。

注意事項

□危険を伴うもの等の使用については講師と相談すること。

評価方法

□特に完成度は重要視しないが、今後の作品制作を考える時間とする。

先端メディア(先端メディア アート&デザイン)

担当教員 八幡純和、岡山拓史

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2020/12/3(木)-2021/2/4(木)

13:30-16:30

授業内容

ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	12月3日	木		実技カリキュラム	○	オリエンテーション	教室にて対面で実施。
2	12月10日	木		実技カリキュラム	○	3Dスキャン	Zoom or 対面
3	12月17日	木		実技カリキュラム	○	3Dスキャン	Zoom or 対面
4	1月14日	木		実技カリキュラム	○	VR制作	Zoom or 対面
5	1月21日	木		実技カリキュラム	○	VR制作	Zoom or 対面
6	1月28日	木		実技カリキュラム	○	VR制作	Zoom or 対面
7	2月4日	木		実技カリキュラム	○	講評	Zoom or 対面

学習目標

VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。

予習・準備物

自分が今までに制作した作品の画像データ。

3Dスキャン（フォトグラメトリ）用に、彫刻作品や身の回りの物など3Dデータにしたいものを考えておく。（ペットボトル大で、非透過素材、マットな質感が望ましい）

注意事項

技術指導が続くので欠席をしないこと。

評価方法

課題作品：70% 制作態度・積極性：30%

銅版画直刻法

担当教員 長島 充

受講アトリエ【402・工房】修得単位：1単位

2020/11/21(土)-12/5(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

銅版画の中で、腐食を用いず直接的に版を彫っていくドライポイント技法を中心とした直刻法によりモノクローム銅版画を1点(30×36.5cm)制作する。課題のテーマは「人間像」。銅の板を直接彫っていく緊張感を体験してもらう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月21日	土		アトリエ準備/フランス語	○	ガイダンス・下絵のトレース	
2	11月22日	日					
3	11月23日	月		勤労感謝の日			
4	11月24日	火		写真と美術	○	彫刻指導	
5	11月25日	水		制作		制作	
6	11月26日	木		制作		制作	
7	11月27日	金		制作	○	試し刷り指導	
8	11月28日	土		制作/フランス語		制作	
9	11月29日	日					
10	11月30日	月		制作/美術日本語		制作	
11	12月1日	火		制作		制作	
12	12月2日	水		制作	○	彫刻仕上げ指導	
13	12月3日	木		制作		先端メディア	
14	12月4日	金		制作		制作	
15	12月5日	土		制作/フランス語	○	講習会・採点	

学習目標

ドライポイントを始め、銅版直刻法による制作。様々な工具による線刻の表現や黒インクの刷りの表現方法の現れ方の違いを学習し、ダイレクトに版を彫っていくこの技法ならではの特徴を体験する。

予習・準備物

初日に必ず版と同じサイズ(30×36.5cm)の下絵を各自制作し、持ってくること。

注意事項

工房使用にあたって薬品類、プレス機、工具類など危険を伴う物もあるため、使用するときは講師や助手の指示に従うこと。

評価方法

課題作品70%(表現力と技法の理解度)、制作姿勢30%

木口木版画

担当教員 栗田政裕

受講アトリエ [402・工房] 修得単位：1単位

2020/11/11(水)-11/20(金)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

テーマ=自由制作

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月11日	水	○	木口木版画の説明 木口木版画の制作の準備。 ビュランの研ぎ方。 版木への下絵の転写の方法	○	参考作品の鑑賞。実際の木口木版画の制作のプロセスの説明（下絵の転写から、彫り、摺り、貼り込みまで） 制作を始める。	用意するもの（学校で用意） 版木、墨汁、ウエス、トレペ、カーボン紙！青）、インク、ローラー、雁皮紙 スティック糊、バレン、砥石 学生が用意するもの 下絵のアイデア等があれば持参する。筆記用具、木口木版画を制作するための資料
2	11月12日	木		制作		制作	
3	11月13日	金		制作		制作	
4	11月14日	土		制作/フランス語		制作	
5	11月15日	日					
6	11月16日	月		制作/美術日本語		制作	
7	11月17日	火		写真と美術	○	木口木版画の彫り、試し摺り（雁皮摺り、直摺りの検証）	
8	11月18日	水		制作		制作	
9	11月19日	木		制作		制作	
10	11月20日	金	○	木口木版画の彫り（午前中に版の彫りを仕上げる）	○	木口木版画の本摺り（雁皮摺り、直摺り）、講評会	

学習目標

木口木版画は、18世紀頃ヨーロッパで完成された木版画の技法である。柘植、椿等の堅牢な木材の木口の面を、ビュランという彫刻刀で彫り進んでいく木口木版画の技法は、白と黒との精緻な表現に適している。本実習では、版画の技法の中でもとりわけ単純で明快な、彫って摺るという行為に重点を置く。原初的な彫版の作業の中で制作者は自分自身の素直な表象と出会う実習である。

予習・準備物

ウエス、新聞紙、軍手、紙 [パラフィン紙（あて紙用）、アルシュの小判、B F Kの中判、雁皮紙]、ビュランNo.5

注意事項

評価方法

提出課題による採点

石版画

担当教員 板津 悟

受講アトリエ [402・工房] 修得単位：2単位

2020/10/23(金)-2020/11/10(火)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月23日	金		アトリエ準備	○	オリエンテーション・研磨		
2	10月24日	土		制作		制作		
3	10月25日	日						
4	10月26日	月		制作/美術日本語		制作		
5	10月27日	火		写真と美術	○	描画		
6	10月28日	水		制作		制作		
7	10月29日	木		制作		制作		
8	10月30日	金		制作	○	描画・製版		
9	10月31日	土		制作/フランス語		制作		
10	11月1日	日						
11	11月2日	月		健康診断		制作		
12	11月3日	火	文化の日					
13	11月4日	水		制作		制作		
14	11月5日	木		制作		制作		
15	11月6日	金		制作	○	製版・刷り		
16	11月7日	土		インターンシップガイダンス		制作		
17	11月8日	日						
18	11月9日	月		制作/美術日本語	○	刷り		
19	11月10日	火		写真と美術	○	講評		

学習目標

講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。

予習・準備物

制作のもとになるエスキース、ウェス、新聞紙、紙（上質紙厚口、いずみ等）描画材料（ダーマトグラフ、ボールペン、等）、定規、鉛筆、マスキングテープ

注意事項

評価方法

提出課題による採点

写真と美術

担当教員 松蔭浩之

受講アトリエ [802] 修得単位：1単位

2020/10/6(火)-2020/11/24(火)

9:30-12:40

授業内容

歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月6日	火	○	写真の誕生/カメラの仕組み		授業カリキュラム	
2	10月13日	火	○	デジタルカメラ入門1		授業カリキュラム	
3	10月20日	火	○	私の写真論1/カルティエ・ブレッソンを「読む」		授業カリキュラム	
4	10月27日	火	○	私の写真論2/WS「モノクロ・ユニバース」		授業カリキュラム	
5	11月10日	火	○	デジタルカメラ入門2/スティルライフ		授業カリキュラム	
6	11月17日	火	○	セルフポートレート/森村泰昌		授業カリキュラム	
7	11月24日	火	○	講評会		授業カリキュラム	

学習目標

写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。

予習・準備物

カメラ（フィルム、デジタル問わず）。スマートフォンでも可

注意事項

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

リトグラフB

担当教員 中村真理

受講アトリエ [402・工房] 修得単位：2単位

2020/10/1(木)-2020/10/22(木)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

リトグラフの特性を利用して個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングのように手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。1人アルミ版を4枚を使用し多色刷り作品をつくる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月1日	木		製本実習	○	オリエンテーション、見当や版分解の説明、ベタ版のデモ、下絵チェック等	
2	10月2日	金		描画、版の準備		海外美術留学担当講座	
3	10月3日	土		合同講評会		合同講評会	
4	10月4日	日					
5	10月5日	月		制作/美術日本語		描画	
6	10月6日	火		写真と美術		描画	
7	10月7日	水		描画、製版		描画、製版	
8	10月8日	木		製本実習	○	見当を使った多色刷りのデモ、製版、刷り	
9	10月9日	金		描画、製版、刷り		描画、製版、刷り	
10	10月10日	土		制作/フランス語		描画、製版、刷り	
11	10月11日	日					
12	10月12日	月		制作/美術日本語		描画、製版、刷り	
13	10月13日	火		写真と美術		描画、製版、刷り	
14	10月14日	水		描画、製版、刷り		描画、製版、刷り	
15	10月15日	木		製本実習	○	描画、製版、刷り	
16	10月16日	金		描画、製版、刷り		描画、製版、刷り	
17	10月17日	土		制作/フランス語		描画、製版、刷り	
18	10月18日	日					
19	10月19日	月		制作/美術日本語		製版、刷り	
20	10月20日	火		写真と美術	○	製版、刷り	
21	10月21日	水		製版、刷り		製版、刷り	
22	10月22日	木	○	刷り	○	刷り、講評	

学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

予習・準備物

制作のもとになるエスキース（400x300mm程度のサイズ）、ウエス、新聞紙、紙（いづみ等の版画紙と試刷り用の厚みのある紙）、アルミ版（500x400mm）、描画材料（ダーマトグラフ、油性ボールペン、リトクレヨン等）定規、筆、鉛筆、カッター、マスキングテープ等

注意事項

1人4枚のアルミ版を使用し多色刷りの作品を制作します。描画や製版、刷りの行程は余裕を持って計画すること。エスキースは完成イメージの色を付けたものを持ってきてください。

評価方法

提出課題による採点。

絵画技法実習

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [] 修得単位：2単位

2020/6/26(金)-2020/9/25(金)

9：30-12：40 13：30-16：30

授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法(安藤)、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユ(工藤)を中心に学ぶ。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月26日	金		実技カリキュラム	○	オリエンテーリング技法説明、制作	グリザイユ
2	7月3日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
3	7月10日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
4	7月17日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
5	7月31日	金	○	制作、講評		実技カリキュラム	↓
6	9月4日	金		実技カリキュラム	○	水張り、技法説明、制作	水彩
7	9月18日	金		実技カリキュラム	○	制作	↓
8	9月25日	金		実技カリキュラム	○	制作、講評	↓

学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

予習・準備物

モノクロの人物写真(顔) サイズ227x158mm(タテ・ヨコ自由)をA4の紙にプリントアウトしたもの 面相筆、平筆(小)

注意事項

評価方法

提出課題による採点

木版画

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [402、工房] 修得単位：2単位

2020/9/1(火)-2020/9/30(水)
9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

300×225mm (4～5版多色)、水性木版画の作品の制作および基本技術と技法の展開。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	9月1日	火		現代美術演習B	鈴木	□木版画について - 彫り方・摺り方ひとつとおり - □下図制作		
2	9月2日	水		下図制作	鈴木	□トレースについて - 多色木版の転写ひとつとおり - □見当板		
3	9月3日	木		製本実習		トレース～彫版		
4	9月4日	金		彫版		絵画技法実習(工藤)		
5	9月5日	土		制作/フランス語		海外留学担当講座		
6	9月6日	日						
7	9月7日	月		制作/美術日本語		彫版		
8	9月8日	火		現代美術演習B	鈴木	様々な版作り - 彫刻刀以外も使って		
9	9月9日	水		彫版	鈴木	様々な摺り 1 - 摺り方による違い・技法		
10	9月10日	木		製本実習		彫版～試摺り		
11	9月11日	金		彫版～試摺り		彫版～試摺り		
12	9月12日	土		制作/フランス語	鈴木	油性摺りについて - 油性インクを使った技法の展開		
13	9月13日	日						
14	9月14日	月		制作/美術日本語		彫版～試摺り		
15	9月15日	火		現代美術演習B		彫版～試摺り		
16	9月16日	水		彫版～試摺り	鈴木	彫版～試摺り		
17	9月17日	木		製本実習		彫版～試摺り		
18	9月18日	金		後期ガイダンス		絵画技法実習(工藤)		
19	9月19日	土	創立記念日振替休日					
20	9月20日	日						
21	9月21日	月	敬老の日					
22	9月22日	火	秋分の日					
23	9月23日	水		彫版～試摺り	鈴木	様々な摺り 2 - 摺り方による作品の展開		
24	9月24日	木		製本実習		彫版～摺り		
25	9月25日	金		彫版～摺り		絵画技法実習(工藤)		
26	9月26日	土		制作/フランス語		彫版～摺り		
27	9月27日	日						
28	9月28日	月		制作/美術日本語	鈴木	作品の仕上げについて - 水張り・エディション・サイン		
29	9月29日	火		現代美術演習B	鈴木	講評		
30	9月30日	水		彫版～摺り	鈴木	摺り		

学習目標

1年次の「専攻別ワークショップ(版画専攻)」で体験した水性木版画1版単色をこの授業ではさらに多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。

予習・準備物

版木(ウッドライクマツムラ6m/m厚シナ両面)、筆各種、絵皿2～3枚または紙パレットの小サイズ。筆、絵皿などは沢山あると便利です

注意事項

刃物を使用するので緊張感を持って制作する。

評価方法

提出課題による採点・授業態度

2年ファインアート科版画専攻/ビジュアルデザイン科イラストレーション・絵本専攻

製本実習

2020.8.1日程修正

担当教員 山口茉莉

受講アトリエ [402、工房] 修得単位：1単位

2020/9/3(木)-2020/10/15(木)

前期 9：30-12：40

授業内容

本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月3日	木	○	概要説明/(ノート作成)		実技カリキュラム	
2	9月10日	木	○	上製本制作(本文を綴る)		実技カリキュラム	
3	9月17日	木	○	上製本制作(布の裏打ち)		実技カリキュラム	
4	9月24日	木	○	上製本制作(仕上げ)		実技カリキュラム	
5	10月1日	木	○	簡易製本(イラスト制作)		実技カリキュラム	
6	10月8日	木	○	簡易製本(綴じる)		実技カリキュラム	
7	10月15日	木	○	講評		実技カリキュラム	

学習目標

ノート制作とオリジナルの上製本、簡易製本を制作します。本の構造を知りながら、紙の特性や道具の使い方などの理解を深めつつ授業終了後には、各自のポートフォリオやアートブック、絵本制作などに生かしていくことができる基礎を築くことを目指します。

予習・準備物

学生が用意するもの：筆記具(シャープペン)、布(詳細は授業初日に解説します)

注意事項

製本はmm単位の計算や、細かい作業の多い授業です。遅れを取ると次週に影響するので遅刻・欠席のない様に努めてください。

評価方法

提出課題による採点

課題作品70% 制作態度・積極性30%

ドローイングA

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [402、工房] 修得単位：3単位

2020/8/4(火)-2020/8/15(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

サイズ・支持体・素材・枚数・他。各自の判断で選択して制作。版表現から一旦離れ、自由な表現を繰り返す中から自分の作品について考える時間とする。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	8月4日	火		現代美術演習B	○	ガイダンス・作家紹介	
2	8月5日	水		制作		制作	
3	8月6日	木		版画概論	○	屋上落書きドローイング	
4	8月7日	金	○	制作	○	制作	
5	8月8日	土		制作/フランス語	○	ディスカッション1	
6	8月9日	日					
7	8月10日	月		制作		制作	
8	8月11日	火		現代美術演習B		制作	
9	8月12日	水		制作	○	ディスカッション2	
10	8月13日	木		版画概論		制作	
11	8月14日	金		制作	○	講評会	
12	8月15日	土		制作/フランス語	○	アトリエ片付け	

学習目標

版画制作から離れ、ドローイング制作に集中する時間とする。版画の技法に制約されることなく、様々な支持体や素材を試す事で多角的に各自の表現を研究する。

予習・準備物

■各自あらかじめ、画集などでドローイングについて調べて置く事が望ましい。

注意事項

■危険を伴うもの等の特殊な事項については講師と相談すること。

評価方法

■作品内容（サイズもしくは枚数を特に重視）

日本語能力試験N1対策

担当教員 蔣

修正日：2020.7.1

履修単位数：2

6月8日以降 AM:9:30~/PM:13:30~

授業スケジュール/計画

			AM	PM
1	5月14日	木		N1対策 (ZOOM)
2	5月16日	土	N1対策 (ZOOM)	
3	5月18日	月	N1対策 (ZOOM)	
4	5月21日	木		N1対策 (ZOOM)
5	5月25日	月	N1対策 (ZOOM)	
6	5月27日	水	N1対策 (ZOOM)	
7	5月28日	木		N1対策 (ZOOM)
8	5月30日	土	N1対策 (ZOOM)	
9	6月4日	木		N1対策 (ZOOM)
10	6月5日	金		N1対策 (ZOOM)
11	6月6日	土	N1対策 (ZOOM)	
12	6月15日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
13	6月20日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
14	6月22日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
15	6月27日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
16	6月29日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
17	7月6日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
18	7月13日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
19	7月25日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~302)	
20	8月1日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~402)	
21	8月10日	月	N1対策 (対面+ZOOM3) 701 (8月8日補講のため)	

学習目標

日本語能力試験を合格すること

予習・準備物

筆記用具

注意事項

取り組み姿勢による採点

評価方法

自主性を伴った授業出席で評価します。

シルクスクリーン2

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ [402、工房] 修得単位：2単位

2020/6/8(月)-2020/6/29(月)

9：30-12：40 13：30-16：30

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5版以上を使った作品（A3/29.7cm×42cm）を一点（紙8枚程度）制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月8日	月		日本語能力試験N1	○	オリエンテーション・技法説明	
2	6月9日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
3	6月10日	水	○	技法説明 (PCを使用した4色分解)	○	技法説明・制作	
4	6月11日	木		版画概論		制作	
5	6月12日	金		制作		制作	
6	6月13日	土		制作/日本語能力試験N1/フランス語		映像ワークショップ	
7	6月14日	日					
8	6月15日	月		制作/日本語能力試験N1	○	色々な刷り方説明	
9	6月16日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
10	6月17日	水		制作		制作	
11	6月18日	木		版画概論	○	制作	
12	6月19日	金		現代美術演習A		制作	
13	6月20日	土		制作/日本語能力試験N1/フランス語		制作/映像ワークショップ	
14	6月21日	日					
15	6月22日	月		制作/日本語能力試験N1	○	制作	
16	6月23日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
17	6月24日	水		制作		制作	
18	6月25日	木		版画概論	○	制作	
19	6月26日	金		制作		絵画技法実習(工藤)	
20	6月27日	土		制作/日本語能力試験N1/フランス語	○	制作	
21	6月28日	日					
22	6月29日	月		制作/日本語能力試験N1	○	講評	

学習目標

シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し環境にやさしい水性インクを使用し刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品（18×25cm位）を1点、5版以上を使った作品（25×38cm位）を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。

予習・準備物

写真orイラストのデータ(200~300ppi程度の解像度でA4サイズ程度)、下絵(A3程度)、紙コップ、プラスチックスプーン、ウェス（ボロ布）、新聞紙、用紙（いずみまたは厚紙ケント紙）、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙（なんでも可）

注意事項

初日までにPCを使用した4色分解による作品用の写真orイラストのデータを用意すること。(短辺が1500pixel以上の物)

評価方法

習熟度と提出課題による採点

2年 ファインアート科

現代美術演習 A

2020.5.25修正

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [] 修得単位：1単位

2020/6/9(火)-2020/7/24(金)

9:00-12:10

授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月9日	火	○	オリエンテーション		絵画技法	自宅にある画材（紙類や絵具・色鉛筆・ペンなど）や道具（のり・ボンドやハサミ・カッターなど）を準備
2	6月16日	火	○	自己と表現と人の考え		絵画技法	1年次に制作した作品1点 描画材・スケッチブックあるいは水彩紙など
3	6月19日	金	○			実技カリキュラム	
4	6月23日	火	○	描かれるもの		絵画技法	支持体となる水彩紙・キャンバス以外の描画材
5	6月30日	火	○	色について		絵画技法	水彩絵具・水彩紙
6	7月7日	火	○	破壊と再構成の自画像		絵画技法	雑誌・本・ポスター等
7	7月14日	火	○	拡張する絵画		絵画技法	水彩紙（B2）・画材
8	7月24日	金	○	講評		実技カリキュラム	

※全てZOOMによるリモート授業になります

学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

予習・準備物

オリエンテーション（初日）は自宅にある画材や道具を用意しておいてください。各授業の最後に次回準備するものをお伝えします。

注意事項

学校ではカルトンを貸し出しできましたが、自宅での作業ですのでカルトンやパネルなどの画板を準備してください。

毎回制作した作品をスマートフォンなどで撮影し画像として保存してください（複数・様々な角度から撮っておくことをおすすめします）。※ファイル形式はjpeg推奨 1枚につき最大でも5MB以下

評価方法

制作姿勢・作品・出席による採点

絵画技法実習

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ [要町アトリエ3F] 修得単位：2単位

2020/6/9(火)-2020/7/28(火)

13：30-16：30

授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法(安藤)、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユ(工藤)を中心に学ぶ。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月9日	火		現代美術演習A	○	オリエンテーション 下地塗り3層乾燥後に図版の写し	図版は予め学生が準備
2	6月16日	火		現代美術演習A	○	地透層 (インプリマトゥーラ) 白色浮出	卵テンペラ 溶油の調合 他
3	6月23日	火		現代美術演習A	○	油絵の具1層目及び白色浮出	
4	6月30日	火		現代美術演習A	○	油絵の具2層目及び白色浮出	
5	7月7日	火		現代美術演習A	○	制作	
6	7月14日	火		現代美術演習A	○	制作	
7	7月21日	火		現代美術演習B	○	制作	
8	7月28日	火		現代美術演習B	○	講評	採点

学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

予習・準備物

描きたい人物の図版(写真)を各自準備する。図版はなるべく陰影があるものが望ましい。

尚図版は初日オリエンテーションの際に講師がチェックします。描きにくい図版の場合変更してもら場合があります。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

- 制作期間に見合う十分な完成度があるか
- 技術的な側面として混合技法の特徴を引き出した作品であるか
- 絵画表現として豊かな感性が感じられるか等

版画概論

担当教員 天野純治

受講アトリエ【 】 修得単位：1単位

2020/6/11(木)-2020/8/13(木)

11：10-12：40

授業内容

作品の鑑賞。ポップアート以降の現代美術史及び作品の研究を行い、今に至る美術史を学ぶ。そこから個々の制作に客観性と作品へのコンセプトを考えていく。また、自身の作品についての発表と全員での意見交換を行う。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月11日	木	○	版画概論授業説明 現代版画①		実技カリキュラム	
2	6月18日	木	○	現代版画②ポップアート以前		実技カリキュラム	
3	6月25日	木	○	現代版画③ポップアート		実技カリキュラム	
4	7月2日	木	○	現代版画④ポップアート、オブティカルアート		実技カリキュラム	
5	7月9日	木	○	現代版画⑤プライマリーストラクチャー、ミニマルアート		実技カリキュラム	
6	7月16日	木	○	現代版画⑥コンセプチュアルアート、現代美術		実技カリキュラム	
7	7月23日	木	○	現代版画⑦現代美術と版表現		実技カリキュラム	
8	7月30日	木	○	現代版画⑧版表現のいま		実技カリキュラム	
9	8月6日	木	○	プレゼンテーション、		実技カリキュラム	
10	8月13日	木	○	プレゼンテーション、講評		実技カリキュラム	

学習目標

作品を制作する時、感覚ともう一つ重要な要素として 作品への思考（コンセプト）があります。この授業ではここに焦点をあて作品鑑賞や現代の美術史を研究することからコンセプトの重要性を考えていきます。そして個々の制作の可能性を拡げることが目標とします。最後に個々の作品と、その作品に対してのプレゼンテーションを行います。

予習・準備物

各自、日常的に展覧会(画廊、美術館)を多く見ることから客観性を意識し、作品の持つ考え（コンセプト）に対して考察を行う。

注意事項

積極性を持って授業に参加してください。

評価方法

授業での積極性。 自身の作品のプレゼンテーション、および研究発表。

リトグラフA

担当教員 中村真理

受講アトリエ [402・工房] 修得単位：2単位

2020/7/1(水)-2020/7/18(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

授業内容

リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	7月1日	水	○	オリエンテーション、道具の説明	○	版の準備、描画、製版デモ	
2	7月2日	木		版画概論		描画	
3	7月3日	金		絵画技法実習(工藤)		描画	
4	7月4日	土		日本語能力試験N1/フランス語		描画	
5	7月5日	日					
6	7月6日	月		描画		描画、製版	
7	7月7日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
8	7月8日	水	○	製版、刷りのデモ	○	試しの版の刷り全員終了	
9	7月9日	木		版画概論		描画	
10	7月10日	金		描画		絵画技法実習(工藤)	
11	7月11日	土		フランス語		描画	
12	7月12日	日					
13	7月13日	月		美術日本語		描画	
14	7月14日	火		現代美術演習A		絵画技法実習(安藤)	
15	7月15日	水		描画、製版		製版、刷り	
16	7月16日	木		版画概論	○	刷り	
17	7月17日	金		製版、刷り		絵画技法実習(工藤)	
18	7月18日	土		合同講評ガイダンス	○	講評	

学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

予習・準備物

アルミ版(45.5×60.6cm)制作のもとになるエスキース、ウエス、新聞紙、紙(上質紙、いづみ等)、描画材(ダーマトグラフ、リトクレヨン、とき墨、油性ボールペン等)、筆、マスキングテープ等

注意事項

作業行程の多い技法です、計画的に進めること。オリエンテーションまでに作品の元となるエスキースは仕上げてください。アルミ版は上記のものを半分に裁断し使用します、1枚は試しの版として使い、もう1枚を提出用の作品として制作します。

評価方法

提出課題による採点

銅版画2

担当教員 山本剛史

2020/7/20(月)-2020/8/3(月)

受講アトリエ [402、工房] 修得単位：3単位

9：30-12：40 13：30-16：30

授業内容

エッチング、アクアチント、ドライポイント、リフトグラウンド、ソフトグラウンドエッチング、など銅版画の代表的な技法を紹介します。製版と刷り作業を実演した後、2つ以上の技法を選択し作品制作へと進んでもらいます。『提出用作品』は2枚を予定しています。支持体となる版画用紙はハーネミュールを使用。画面サイズ200×280mm。紙サイズ300×380mm。刷り上げた作品にはサインとエディションを入れて提出していただきます。最後は講評会にて、実際にやってみた感想とそれぞれの作品について皆で話し合い授業を終了とします。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	7月20日	月		美術日本語	○	オリエンテーション	
2	7月21日	火		現代美術演習B		絵画技法実習(安藤)	
3	7月22日	水		制作	○	実演/講義	
4	7月23日	木		版画概論	○	制作	
5	7月24日	金		現代美術演習A	○	実演/講義	
6	7月25日	土		制作/フランス語		制作	
7	7月26日	日					
8	7月27日	月		制作	○	試作チェック	
9	7月28日	火		現代美術演習B		絵画技法実習(安藤)	
10	7月29日	水		制作	○	実演/講義	
11	7月30日	木		版画概論	○	試作チェック	
12	7月31日	金		制作		絵画技法実習(工藤)	
13	8月1日	土		制作/フランス語	○	試作チェック	
14	8月2日	日					
15	8月3日	月		制作	○	講評会	

学習目標

銅版画技法に触れ、この面白さを体感し、今後の制作プロセスの幅を広げて頂ければと思います。銅版画には色々な技法がありますが、その中のいくつかを組み合わせ、自身の作品を制作してもらいます。版画表現は『写し取る』ことによって初めて成立する独特な手法です。どの工程においても丁寧に取り組むことが、作品に驚くほど影響します。この体験によって制作態度における誠意の大切さと『写し取った』自らの作品に對面する新鮮な驚きを学習して頂きたいです。

予習・準備物

予習：自分なりに過去の、そして現代までの版画作品を紐解き、好みの作品や版種などを2、3点見つけておいて下さい。準備物：◇インク(グラフィックケミカル/No135c stiff Black) (シャルボネ/セピア・ザンギュイン) (文房堂・白) ◇グラウンド(文房堂) & (シャルボネ固形) ◇裏止め用ワニス◇塩化ビニールシート◇リグロイン◇プリントクリーナー◇人絹◇寒冷紗◇ニードル人数分◇ハーネミュール(学生購入) ◇ピカール◇松脂等アクアセット◇ポスターカラー白&平筆、リフトグラウンドセット◇ソフトグラウンド固形

注意事項

版画はその成り立ち上、『一気にやっつける』という手法では作品を仕上げられません。どの工程も分かちがたく意味を持ち、逆に申し上げるなら工程を丁寧に身につければ、作品の質の高さや新しい自分の個性を見いだせるチャンスは高まります。そのことをいつも念頭に置き、授業に臨んで下さい。版画にとって『紙』及び『道具』の扱いは大切です。授業の中で折々触れて参りますのでその扱いの基礎をしっかり聞き取り、実践していくよう取り組んでください。

評価方法

課題作品70% 制作態度・積極性30%

現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [] 修得単位：1単位

2020/7/21(火)-2020/9/29(火)

9：30-12：40

授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作のヒントを得るために、レクチャーと課題&講評会、課外授業を組み合わせたカリキュラムを行います。レクチャーでは、現代美術についての原理的な解説、日本現代美術史と戦後日本文化全般の解説を中心に行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	7月21日	火	○	オリエンテーション		絵画技法(安藤)	
2	7月28日	火	○	レクチャー②(課題①出題)		絵画技法(安藤)	
3	8月4日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー①		実技カリキュラム	
4	8月11日	火	○	課題①講評会+レクチャー②		実技カリキュラム	
5	9月1日	火	○	レクチャー③(課題②出題)		実技カリキュラム	
6	9月8日	火	○	課題②講評会+レクチャー④		実技カリキュラム	
7	9月15日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー②		実技カリキュラム	
8	9月29日	火	○	講評		実技カリキュラム	

学習目標

現代の視覚文化は映像を媒体としたコンテンツを抜きにして成立しません。サブカルチャーからハイカルチャーまで、映像というメディアがどのような役割を果たし、どのように展開したのか。本講義では主に戦後日本を中心としてアニメや映画、ゲームなどの映像コンテンツが表現してきたものを読み解いていきます。

予習・準備物

授業内でその都度指示する

注意事項

特になし

評価方法

授業態度及び提出課題による採点